

# 乙訓平和委員会ニュース

発行年日 2023年6月5日 No.451 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男  
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

## 神足空襲の戦跡を見学して感想が寄せられた 京都平和委員会青年学生部が「戦跡さんぽ」長岡京編

京都平和委員会青年学生部が取り組んでいる「戦跡さんぽ 長岡京編」で、5月21日長岡京市で「神足空襲」関連の記念碑などを見るフィールドワークがありました。青年学生部の植本泰成部長から協力要請があり、乙訓平和委員会の米重節男さんが案内と解説しました。参加者からの感想が寄せられていますので、紹介します。

過去の戦跡さんぽの中で、京都での空襲を扱ってきましたが、今回は長岡京市をはじめとした乙訓地域が戦時中には工業地域があり、空襲の被害を受けたことを知りました。

機銃掃射による空襲とのことで、以前神戸市での戦跡さんぽで、見たような洋館の壁に残った機銃掃射の傷跡を思い出しながら、駅前の被害を受けた煙突のミニチュア模型を見てきました。

当時窓拭きをしていた若い女性従業員が流れ弾に遭い、病院に運ばれるも、病院が軍に接收されていて、当初受け入れてもらえなかったのも、戦時中だからこそです。若い命、弱い立場の人間は、戦時はずっと虐げられると感じました。

のちの長岡京市長さんが実際に被害を受けた会

社で働いており、空襲を身近に体験したからこそ、自治体としても戦争被害を後の世代に引き継ごうと尽力されたことが心に残りました。

煙突のミニチュア、平和記念碑など形残るものと平和の日の式典など人の記憶に残るものの、両面から戦争の記憶を引き継いでいくことが、歴史に埋もれないために必要なのだと思いました。

実際に戦争を体験した方々が亡くなっていく中で実際の証言を聞く機会は減っていきませんが、伝聞でも生身の人間の体験談として戦争を追体験でき、今回の戦跡さんぽでは戦争を伝え、平和を守りたい人々の想いに触れられました。 以上

「戦跡さんぽの参加者より」

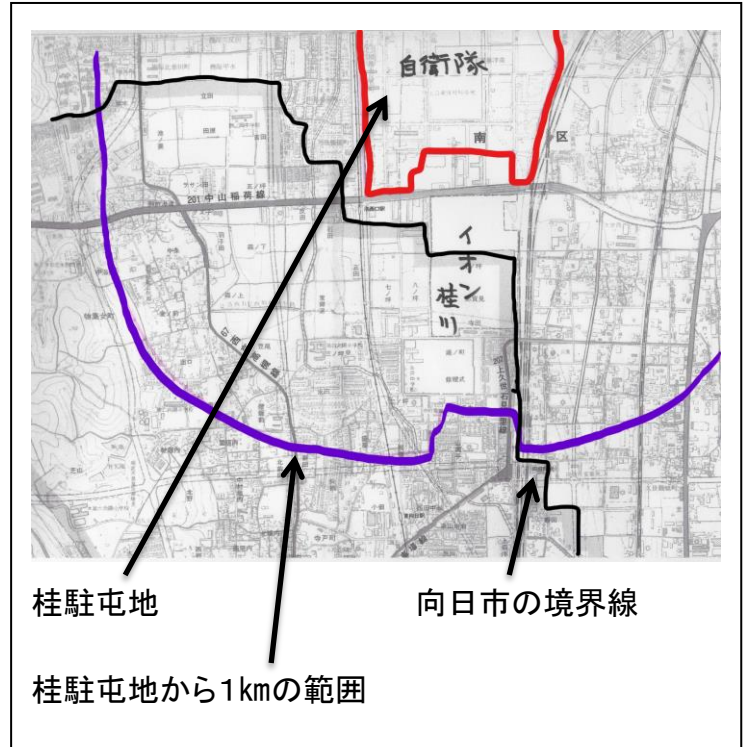
(2面に別記事)

【神足空襲】1945年(昭和20年)7月19日に、神足駅(現在のJR長岡京駅)周辺に米軍戦闘機が飛来し、付近の工場や民家を機銃掃射した。日本輸送機(現在の三菱ロジスネクスト)で女子従業員(16歳)が死亡。他に2社の従業員、民家の住民の計5人が撃たれケガをした。銃撃の痕跡が残る日本輸送機の煙突は、老朽化で取り壊された。市民から死傷者が出た空襲の記憶として残すよう会社と長岡京市に要請もあった。長岡京市は1989年煙突のミニチュアを平和記念碑として作り、7月19日を長岡京市平和の日として制定している。

# 西京区ピースウォーク 自衛隊桂駐屯地周辺で6月25日実施

政府はロシアのウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル発射、中国による台湾有事などを名目に、軍事予算を倍加する方針を打ち出し、敵基地攻撃能力を強化する動きに出ています。この一環で、自衛隊基地「強靱化」計画が進められています。またすでに法律が作られている「土地利用規制法」により、自衛隊基地を「特別注視区域」や「注視区域」に指定していく方向です。陸上自衛隊桂駐屯地が指定されれば、基地周辺1kmは住民監視の対象地域となります。この場合は、向日市の一部も対象範囲になります。

西京区で行動している「西京区ピースウォーク実行委員会」から、6月25日行動に関して、桂駐屯地周辺の皆さんへの呼びかけ案内が来ていますのでお知らせします。



## 西京ピースウォーク20th

2023 6月25日(日) 雨天決行

軍事費43兆円をアメリカに約束し、軍需産業支援法や軍事費財源確保法を強行する岸田政権！

攻撃される恐れがあるから、自衛隊基地の強靱化？ 周辺の住民の命は、安全は、どうなるのか？

京都市内唯一の自衛隊桂駐屯地が身近にある地域の皆さん、憲法違反の軍事強化は許さない、と声をあげ続けましょう！ G7で「核の傘」容認！被爆地ヒロシマで許されないことです！核兵器禁止条約の批准を！

改憲発議許さず、原発ストップの声を上げよう！ 〈私の要求〉を持ちよってアピールしましょう！

### 【ウォーク・コース】

10:00 集合 桂高校 北西角（阪急線路沿い）

10:10 ピースウォーク、出発・線路沿いを南へ

→JR桂川駅 10:50頃 到着 駅前で宣伝

主催：西京ピースウォーク実行委員会

連絡先：新婦人西京ママふれんど(佐藤) 075-394-5996 (fax394-1050)



第19回西京ピースウォーク（2022・9・19）は、岸田政権による安倍国葬が強行されようとしていた時でした。

（お知らせ）6月は会費・紙誌代の集金月です。担当者が伺いました時には、納入にご協力ください。